

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2013年5月31日

No.24

夏季手当第3回交渉

言い訳ばかりの役員人事は認めない！
組合員の士気向上のために満額回答で誠意を示せ！

中央本部は本日15時から、一昨日中断した「夏季手当第3回交渉」を再開し、役員人事に表れた無責任な経営姿勢をただしました。

【主な交渉内容】

組合：再回答するとしていた役員人事と専務3人体制の理由を明らかにされたい。

会社：役員人事は事業計画達成のための配置である。専務の増員は経験・実績を踏まえた上での社長判断である。

組合：①組合員に対して今年度の事業計画で人件費削減を打ち出しておきながら役員人事で経営陣を手厚くし、経営陣の覚悟が一切見えない。

②事業計画で組合員に一方的に犠牲を強いることは一切認められない。

③労使協議を無視して、本社組織体制の見直しや営業体制の見直しなどの計画を進めている。労使協議を軽視する姿勢は一切認めない。

④計画達成に向けて組合員のモチベーションを上げることが何よりも重要である。組合員のモチベーション向上の為に夏季手当について、満額回答を求める。

会社：組合の主張は理解する。今後交渉を積み重ねて議論していく。

【3回の交渉を通じて明らかになったこと】

①この間、再三にわたって回答を求めたにもかかわらず同じ回答に終始し、経営陣自ら将来展望を示すことが出来ないこと。

②事業計画の遂行にあたり、組合員の犠牲を強いる計画である一方、経営陣は昇格人事を実施した。このことは経営陣自ら血を流さない姿勢であること。

③外部からJR貨物の新生を求められている中で、社員には覚悟を求めたにもかかわらず経営陣は従来通りの経営姿勢であること。

中央本部は、収入確保・拡大に全力をあげること及び職場で奮闘する組合員の士気向上のため、満額回答をもって応えることを主張し第3回交渉を終了しました。

組合員の皆さん！会社は組合員に一方的に犠牲を強いる姿勢です。経費削減に傾斜する経営姿勢を改めさせるために、職場からたたかいを創りだそうではありませんか。中央本部はその最先頭で交渉に臨みます。

次回第4回交渉は 6月6日（木曜日）です。

以上